

神奈川県立相模原高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 相模原高等学校 第3回 学校運営協議会
開催日時	令和8年3月25日
開催場所	(書面開催)
出席者	河西委員、伊藤委員、平岩委員、石井委員、加藤委員、片野委員、奥村校長
会議資料	○ 学校評価報告書 実施結果
議事録	<p>○ 各委員との日程調整がつかず、メールによるやり取りによる書面開催とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価実施報告書の学校関係者評価の内容を確定した。</li> </ul> <p>○ 教育課程・学習指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では教科を探究的に学んでいるのか、探究学習とのつながりを生徒が意識できているのかを検討したほうがよい。</li> <li>・授業研究の成果を教科内容の精選に使い、それぞれの教科科目で重複している分野を削る形にしてはどうか。</li> <li>・外部の大学で課題研究に関わった生徒の学びを教員はどのぐらい理解しているのか。</li> <li>・県相人材バンクはとて良い取り組みであると思う。積極的に広げてもらえるといい。</li> </ul> <p>○ 生徒指導・支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒主体の活動が根付いていると思う。</li> <li>・学業と部活動の両立が図られ、主体性と協調性が育まれている。</li> <li>・不登校等の精神的な課題のある生徒に対しては外部のフリースクール等の支援も必要かと思う。</li> <li>・将来社会に貢献出来るリーダーを育成するうえでも引き続ききめ細かなケアをお願いしたい。</li> </ul> <p>○ 進路指導・支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾での学会発表や科学の甲子園、オリンピックの参加等は、将来の自分の姿を意識し、探求することができる素晴らしい取組だと思う。</li> <li>・3年間の課題研究の成果を活用した大学入試へのチャレンジも進められるといい。</li> <li>・進路の時間の中で、自分の将来の仕事をじっくり考える時間が必要である。</li> </ul> <p>○ 地域等との協働について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒主体の地域との連携を一層進めてもらいたい。</li> <li>・今年度卒業生の一人が無料学習支援を毎週行っていた。子どもたちの相手をしつつ勉強もして希望の進路に進んだとのこと、多様な人とつながる機会を作ることは必要だと思う。</li> <li>・更なる地域連携や地域行事への参加など機会をお探してしたらいつでもお声がけいただきたい。</li> </ul> <p>○ 学校管理・学校運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生は災害時には被災者であると同時に支援者でもあるということを意識した防災教育を進めることが必要である。</li> <li>・業務の整理と不要なものは削って時間の余裕が作られるようにできると良い。</li> <li>・どの職場でも仕事は増える一方なので、減らす業務を管理職に判断していただく必要がある。</li> </ul>